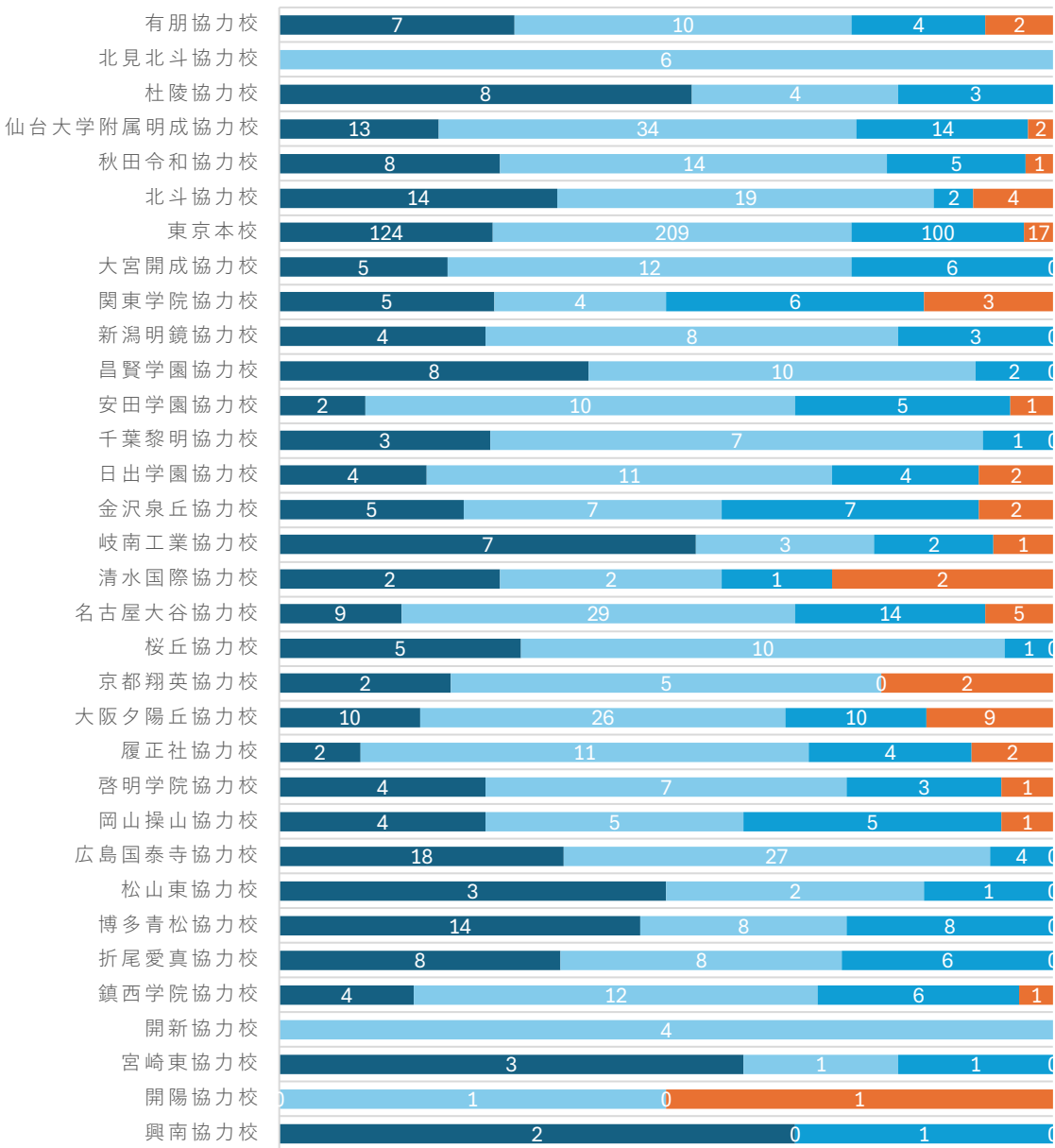


2024年度 スクーリング会場別評価

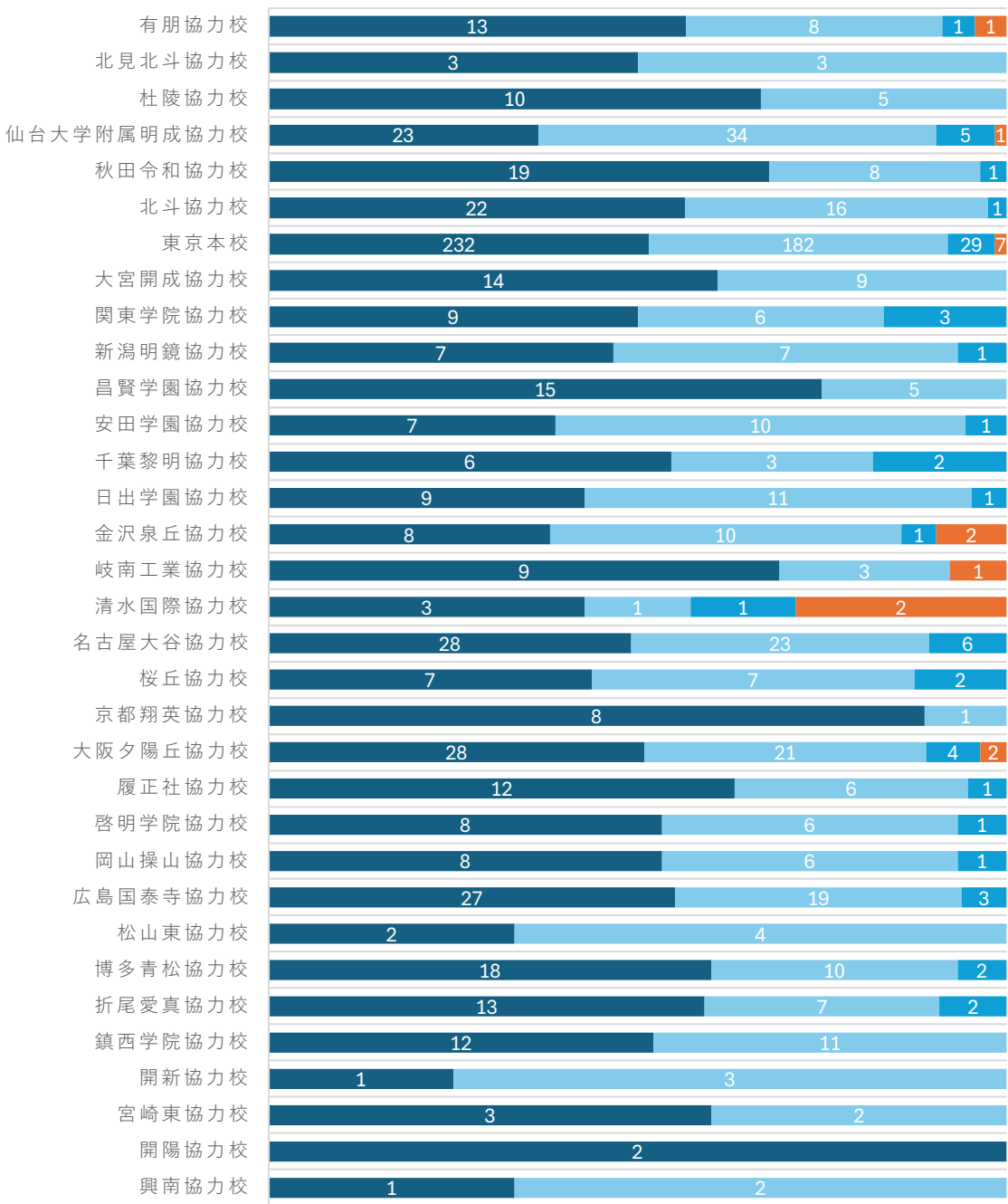
NHK学園高等学校のスクールミッションや事業計画、昨年度の学校評価で明らかになった項目を踏まえて、生徒、保護者、教員を対象に2024年10月18日から11月25日までインターネットでアンケートを実施しました。
このうちスクーリング会場別に確認すべき主な項目について生徒アンケートの結果をまとめました。グラフ上の数字は、回答した生徒の数です。昨年度の結果から見えた課題に対する今年度の取り組み、今回の学校評価を踏まえた次年度への課題と改善方策についてもまとめましたので、ご覧ください。

課題	具体的な取り組み	次年度への課題と改善方策
・「通信教育実施計画」に基づくスクーリングの実施がより定着するよう、引き続き、本校と協力校間で指導内容や指導方法、教材等の共有を進めていく。	・「通信教育実施計画」は、引き続きスクーリング指導の範囲、内容をより具体性のあるものに整えて記述の統一化を図り、各協力校でその計画にもとづくスクーリング指導を展開できるようにした。あわせて全国のスクーリング講師向けにネット学習システム（「N学オンラインスペース」＝NOSと呼ぶ）のアカウントを発行し、システム内のTeams利用の周知、教材等の資料共有の試行を開始し、教育指導の標準化を図った。	・「通信教育実施計画」については、その内容を単年度ごとに見直し、指導内容の精査とともに、各科目間における記載事項の統一を図り、各協力校での指導に十分に活用できるようにする。
・学習指導、進路指導、教育相談、各種行事のオンラインコンテンツの充実と、生徒、保護者の利用促進を図る。	・特別活動として全国の生徒が参加するオンラインセッションを実施したり、予備校講師による受験対策講演会を全国配信したりするなど、引き続きオンラインコンテンツを充実させた。	・観点別評価を導入したレポート課題については、継続して各教科・科目でその内容と生徒の理解度等を考慮し、適切な教材設計となっているかを検証して次年度のレポート教材作成に活かしていく。その他のオンラインコンテンツについても基本的には継続しつつ、生徒の利用度や反応も見極めて、より充実した活動や必要な情報が的確に提供できるよう改善していく。
・公的支援を含め生徒支援のサービスを必要な生徒・保護者が受けられるようにNOSでの情報発信を強化するとともに、協力校の教員による情報提供もすすめ、利用促進を図る。	・拠点協力校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとのオンライン会議を開催し、課題を共有するとともに、通信制高等学校における生徒支援の方向性を確認して「チーム学校」体制の強化に努めた。 ・地区の運営責任者を集めた会議に加え、ライフデザインコース（学びの多様化学校）の指導部長を本校に招いて協働会議をもち、コース独自のカリキュラムの内容の理解を深め、多様化する生徒像を共有した。そして、個別最適な学習環境構築に向けて課題を整理し今後の取り組みの方向性を検討した。	・本校と協力校の担当者との様々な会議で共有した課題について、各協力校の状況等を踏まえ改善に向けた解決策を協働で検討し実行する。 ・文部科学省の「通信制高等学校の学び充実支援事業」の2年目として、生徒数の多い拠点地域で「居場所カフェ（よりみちカフェ）」を試験的に実施し、協力校での体制等ふくめ、実現の可能性を探る。 ・本校で実施した「SOSの出し方教育」を協力校のホームルームで実施する。

スクーリングでは自宅学習における不安を解消できる

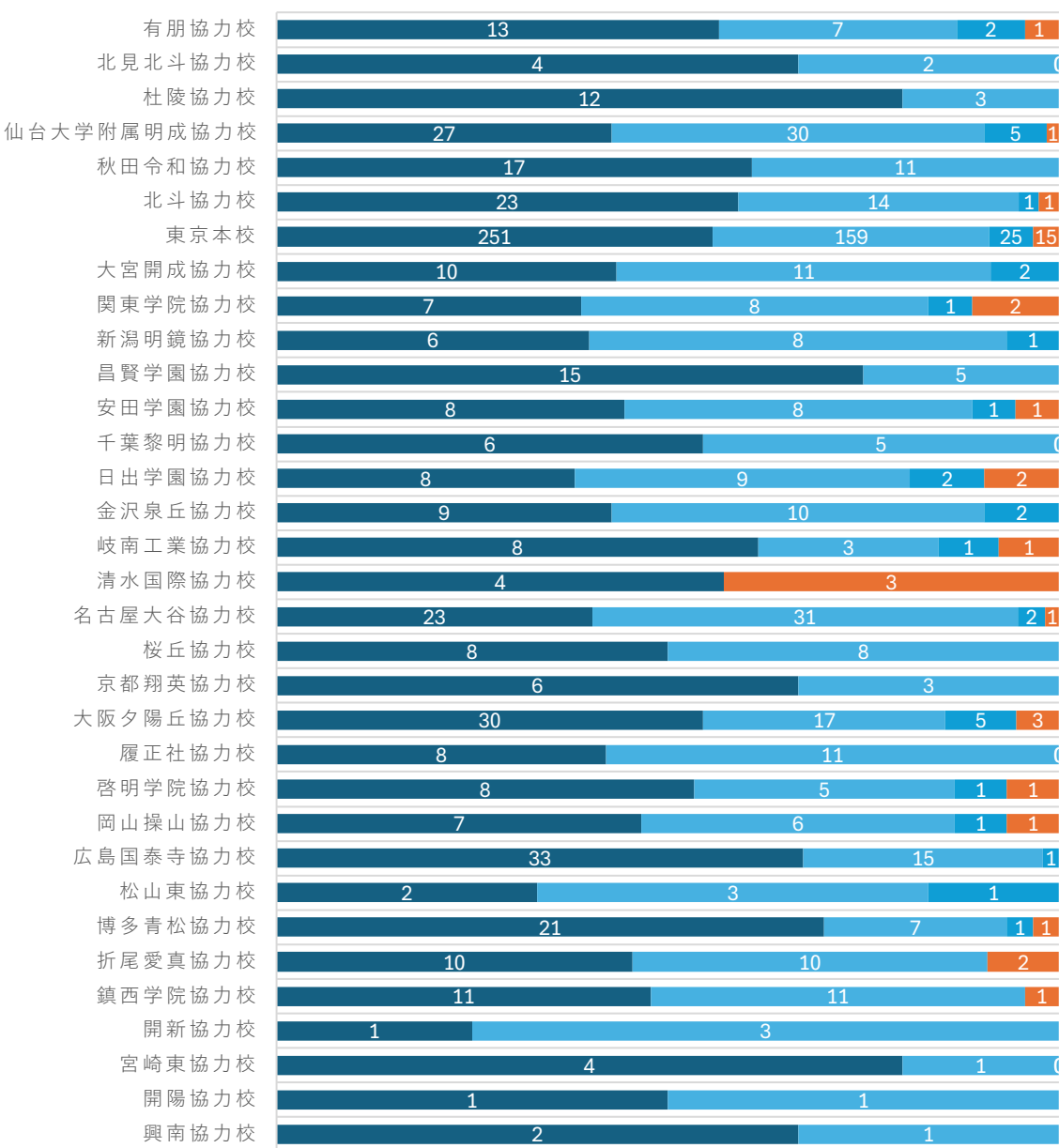


NHK学園高等学校は安心できる学びの場である



凡例 ■そう思う ■ややそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

スクーリング会場の学習環境に満足している



NHK学園高等学校に入学して良かった

